

学校法人 新潟青陵学園 DX宣言書

2024年4月23日
学校法人 新潟青陵学園
理事長 篠田 昭

□ 経営理念(青陵ミッション)

品性、知性、徳性をもつ実践的・実学的な「総合知」を育む基点となる。
～多様性あふれる価値観の触れ合いと、インクルーシブな機会提供を通じて～

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

「DX推進による、『教育』と『学習』におけるウェルビーイングの実現」
すべての学習者がデジタル技術とデータを学びのパートナーとして効果的かつ適切に活用し、個人や社会のウェルビーイングを実現することを目指す

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(2024年4月～2025年3月)

戦略 組織運営の革新とデジタル基盤整備

施策 ・ デジタル人材育成における民間企業との連携

・ BYOD(※1)の推奨、情報セキュリティ対策等によるデジタル基盤整備

(※1)BYOD:個人が所有するスマートフォンやタブレットを業務や学校教育に使用する仕組み

・ 各種手続きのオンライン化、部署間コミュニケーションのデジタル化等による業務プロセスの合理化

・ データの一元管理・分析・活用によるデータドリブン(データに基づいて判断・アクション)な組織運営

➤ フェーズ2(2025年4月～2026年3月)

戦略 デジタルによる一人ひとりの活躍推進

施策 ・ 学習成果の可視化による個別最適な学びの実現

・ 対面・遠隔の融合による、時間と場所を超えた質の高い学びの実現

・ eラーニング等によるデジタルリテラシーの向上

➤ フェーズ3(2026年4月～2027年3月)

戦略 デジタルによる革新的な学習体験の創出

(豊かな学習体験を実現するSociety5.0(※2)時代の教育の実施)

(※2)Society5.0:持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会

施策 ・ 通信制課程設置(高校・短期大学部)によるデジタルスキル育成のための革新的な教育体制構築

高校通信制課程…従来の面倒見のよい教育をデジタルとリアルを融合し発展させる

短大通信制課程…高卒者のみならず社会人のリスキリング・リカレント教育を充実させる

□ DX推進体制

- ・ DXを推進する基礎を構築するため、DX・IR室が中心となってDXに関する研修や事例紹介を実施
- ・ 通信制課程設置については、高校・短期大学部が設置準備室を新設し推進

□ DX推進目標

- ・ 学園内教職員のデジタルコミュニケーションツールの導入(2024年4月～)
- ・ 短期大学部人間総合学科にてデジタルスキルの育成に焦点を当てた新カリキュラム設置(2024年4月～)
- ・ 組織内データ分析・状況可視化の実現(2025年4月～)
- ・ 高校、短期大学部にてデジタルを活用した通信制課程設置(2026年4月～)

引用元

(※1) ICT教育ラボ、「BYODとは? 教育の現場で導入されているBYODについて、わかりやすく解説。」。 <https://kdc-ict.com/blog/ictglossary/p1825/>,(参照2024-04-17)

(※2) 内閣府、「Society 5.0とは」。 https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html,(参照2024-04-17)